

令和5年4月26日(水)  
15:00～16:20  
朝霞市立朝霞第一小学校  
2階 なでしこ会議室

## 朝霞市立朝霞第一小学校 令和5年度第1回学校運営協議会

### 次第

- 1 委員長あいさつ
- 2 副委員長あいさつ
- 3 学校長あいさつ
- 4 令和5年度の学校経営について
- 5 情報交換
- 6 その他

## 令和5年度（2023年度）朝霞市立朝霞第一小学校 学校経営方針

朝霞第一小学校  
校長 金子二郎

### 【学校教育目標】

#### 考える子（知）

- 相手の立場に立って話を聴き、意欲的・主体的に学習に取り組む子に
- よく考えてから自分の責任で判断し、誠実に行動する子に
- 生きがいについて自分なりに考えることができる子に

#### やさしい子（徳）

- 自分も相手も大切にし、思いやりを行動に表すことができる子に
- しっかりと挨拶をすることができ、場をわきまえた丁寧な言葉遣いができる子に
- 相手を否定することなく、お互いの「自分らしさ」を認め合うことができる子に

#### たくましい子（体）

- 困難に直面しても簡単にあきらめることなく、ねばり強く努力する子に
- 基本的な生活習慣が身に付いている子に
- 自分の目標に向かって心身ともに鍛えることができる子に

### 【学校経営方針】

一小に関わるものすべてがより良く生きることができるように

1. 児童はもちろん、教職員も保護者も地域にとっても「居場所」になる学校に
  - (1) 児童にとって…「生きる力」が身に付く
  - (2) 教職員にとって…業務改善と教育の質の向上の両立→「はたらきがい」が実感できる
  - (3) 保護者にとって…子育ての喜びも苦労も分かち合うことができる
  - (4) 地域にとって…自己実現や社会貢献をとおしてコミュニティが成立する

◎関わるものすべてで「将来この街を支える子供たちをみんなで育む」という共通目標  
＝コミュニティ・スクールのゴールイメージ…膝折学校の「reboot」（再起動）

### 【目指す学校像】

活気があふれ、心が潤い、一人一人がより良く生きる学校



## 1. 活気があふれる学校

- (1) 「誰かがやってくれるだろう」と他者に依存するのではなく、それぞれができることに誠実に取り組むことで、全体が質的に向上する学校。お互いをよく知り合い、その上で「自分は何ができるか」を自分事として考え実行する「当事者意識」を、子供も大人も持つ。
- (2) 一人一人の努力を、お互いに認め合う。周囲の努力を見て「私もみんなのためにもっとがんばりたい。」と思えるような集団に。(例えば教職員にとって居心地のよい快適な職場となれば、事故の発生を防ぐこともできる。)
- (3) 子供にとっては、「できた」「わかった」「楽しい」と実感すればするほど、より主体的に取り組むようになり、一人一人に真の学力や体力が身に付く。

## 2. 心が潤う学校

- (1) キーワードは「利他」。  
一人一人の生活は千差万別。外からは見えない重荷を背負っていることも少なくない。がんばり方は異なっても、それぞれの立場で自分のパフォーマンスを向上させることで、組織力は確実に向上する。「誰かのために役に立つことができている」と実感することで、より強く「自分らしさ」を発揮することを通して他者に対し貢献できる。
- (2) 「教えるプロ」としての教師のプライド+「本願他力」。  
「アフターコロナ(ネクストコロナ)」となり、感染症対策等によりこれまで見送らざるを得なかった、地域の人材や外部の教育力を積極的に援用した「一小ならでは」の教育活動を展開する。さらに学習指導に限らず、学校におけるその他の業務についても外部との連携を模索する。誰かの力を借りることで教育の質が向上する。「教師でなくともできる」なら、助けを借りることで「教師しかできない」ことに一層力を注ぐことができる。負担軽減の視点からも重要。
- (3) 子供同士、大人同士、子供と大人の関係性を重視する。  
大人の世界の「排除の理論」を学習する子供は「いじめ」についての感覚が麻痺するのではないかという懸念。「多数派」が果たさなければならない「責任」についての共有。  
→「弱い敵と共存する」(オルテガ・イ・ガセット「大衆の反逆」)
- (4) それぞれの「らしさ」を大切にする。  
「角を矯めて牛を殺す」育て方ではなく、一人一人の「らしさ」を自信につなげるコーチングが効果的。多様性を認め合う生き方ができる子供たちを育てることが求められている。

## 3. 「次の150年」に向けた、新たな「膝折学校」のスタート

- (1) 明治7年開学以来、数えきれない多くの先達の弛まぬ努力により培われてきた「膝折学校」の文化(歴史、伝統)を再認識し継承する。
- (2) 地域の実態を踏まえた課題の解決を目指しつつ、「働き方改革」、少子高齢化、高度情報化、国際化、SDGsの視点を踏まえた環境問題、「貧困と格差」といった、多くの市民が当事者となる社会全体に関わる問題に向き合い、長期的な視野に立って「学校『は』何ができるか」あるいは「学校『へ』何ができるか」を、老若男女を問わず考え、「オール一小」で地域から発信する学校を目指す。
- (3) 世代交代があっても、膝折学校としての「スピリッツ」を継承することができるよう、学校運営協議会が中心的な役割を担う新たな学校づくりを目指す。



## <目指す教師像>

教育のプロとしての使命感をもち、児童に誠実に向き合い、これまでの人生から体得した「自分らしさ」という長所を生かして児童理解や授業に情熱を注ぐ教師。

- 熱意、創意、誠意をもって指導にあたる教師
- 心をこめて一人一人の児童に寄り添い、きめ細かな指導ができる教師…「師弟同行」
- 自分を磨くことに努め、魅力が感じられる人間を目指す教師
- 独りよがりになることなく、社会の要請に真摯に耳を傾け、時代の流れに柔軟に対応できる教師
- 保護者との人間関係を豊かに築き、共に子供を育てられる教師

## <目指す児童像>

- 意欲的、主体的に学習し、自分なりの考えを持つことができる児童
- 自分から挨拶したり、分け隔てなく誰に対してもやさしい言葉がけをしたりできる児童
- 向上心を持ち、目標に向かって粘り強く努力し続けることができる児童
- 相手を否定することなく、互いの個性を認め合える児童
- 心をひとつにして、皆で物事に取り組むことができる児童

## <<令和5年度の重点 >>

### 1. 信頼の構築…「先生」としての矜持の共有

- 信頼される教師としての指導力の発揮
  - ・日々の授業と生徒指導・児童理解
  - ・信頼されるための情報発信の工夫
  - ・迅速で誠意ある緊急対応
- 信頼される危機管理
  - ・教職員事故防止
  - ・怪我の防止、保健指導の充実
  - ・施設設備の危険個所の早期発見と即時対応
- 信頼される教師の挨拶
  - ・自分からの挨拶（児童も、教師も）、地域と積極的に関わることのできる教師

### 2. 学習指導の充実と学力の向上

- ICTの一層の活用（あらゆる教育活動におけるiPadの活用）と研究開発学校指定に係る研修成果の共有の最大化
- 学習規律の徹底…学校というフォーマルな集団において実現する学びの基礎
- 個別最適な学びと狂的な学びの一体的な充実
- 基礎・基本の確実な定着
- 全国・県の学力調査の結果分析に基づいた学力向上プランの一層の活用と効果的な教育課程の展開
- 音楽指導力、英語指導力の向上
- 児童のプログラミング的思考の育成・充実
- 学校応援団、外部指導者、ゲストティーチャーの積極的な導入
- 授業研究の充実…「アーカイブの活用」を通じた成果の共有

### 3. 体力の向上

- 「わかった」「できた」「楽しい」に裏打ちされた体力の確実な向上
- 限られた指導時間の中で最大限の体力向上を実現するための、共通理解・共通指導の徹底
- 学年・学級で取り組む体力向上の推進
- 学級経営との関連を図った運動の実施
- 効果的な運動教室の実施

### 4. 学年・学級経営の充実

- 積極的な生徒指導、特別活動の充実
- 互いの報告・連絡・相談・確認を日常化することによる組織的な取組の充実
- 個別の保護者の実態を踏まえた上での、気持ちに寄り添った丁寧な指導と保護者対応
- 一人で抱え込まず、組織的ないじめの防止等や不登校児童の解消の推進
- カウンセリングマインドを生かした児童・保護者対応…さわやか相談室、子ども相談室、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等相談機関や民生委員児童委員、こども未来課、所沢・南児童相談所等の関係機関と連携強化

### 5. 笑顔と活気あふれる学校づくり

- 「アフターコロナ」に即した創意工夫と魅力ある学級・学年づくり
- 発達段階に応じた、笑顔と活気のある「活動の場」の設定
- 児童が自ら楽しむことのできる外遊びのための環境整備
- 計画的な学級レクや学年レクの実施、

### 6. インクルーシブ教育の充実

- 全職員で全児童を支援する意識と体制の充実
- 特別支援学級と交流学級との連携の充実
- 通常学級に在籍する支援を必要とする児童への支援の充実

### 7. 道徳教育の充実

- 道徳授業の保護者公開（親子で考える道徳授業の展開）  
→年間の授業参観において1回以上取り組む
- 考え、議論する道徳授業の実践
- 道徳的実践力の向上

### 8. 潤いのある教育環境の創造

- 安全で安心な学校づくり（自分の命も他人の命も大切にする。）
- 互いの個性を認め合い、生かし合える学校づくり
- 仕事は厳しく、職場は明るく、人間関係は温かく
- 子ども達の生き生きとした姿の積極的な情報発信
- 美しく潤いのある教育環境づくり
- 清掃活動の徹底…「清掃は心の鏡」